

## 清掃の分野に留まらず、 何でもご相談いただける会社に！

株式会社大川ビル管理

代表取締役社長

古賀孝 さん

住 所…大川市大字北古賀25415

TEL…094418613448

FAX…094418613825

今月の夢追い人は、(株)大川ビル管理の古賀孝さんにお話を伺いました。

(株)大川ビル管理は、昭和43年10月創業され、現在55年を迎えられました。そんな(株)大川ビル管理は、どのような事業を展開されているのでしょうか。

「名前通りお客様の建物の管理がメインになります。人が使用する建物はどうしてもゴミや埃、汚れが出てしまい、そのままにしておくと建物が劣化していきます。そこを定期的にメンテナンスして、長く、衛生的に保てるようにしていくのが私たちの仕事です。主に個人宅、マンション、商業施設や病院また、事業所の事務所や倉庫のメンテナンスや清掃を行っています。現在

81名の従業員（パートも含む）が持ち場で活躍しています。平均年齢は64〜65歳と人生経験豊富な従業員が多いことが特徴で、ほかの業種に比べると高いかもしれませぬ」

では、今の事業を始めるに至ったきっかけはなんでしょうか。

「現会長である父がこの業種を始めて、私が2代目になります。実はこの業種を始める前は、父がもともと建具製造業を営んでおり、職人も何人か雇っていたそうです。当時は、木製の建具、襖や障子を製造していたのですが、木材を使っていた箇所には、鉄やアルミが使われ始め、少しずつ建具の仕事が減り始め、売上もだいたい落ちたそうです。そんなときに知り合いから「こ

の業種をしてみないか」と薦められ、北九州での修業を経て開業したと聞いています。

開業当時は『大川ビル管理工業社』と名付け、建具製造の知識を生かして、建物の内装や美装の仕事をしながら、だんだん清掃やメンテナンスにシフトして、現在の事業形態になりました。それから昭和57年に法人化し、現在の『(株)大川ビル管理』になったと聞いています」

また(株)大川ビル管理としてや古賀さんが社長として気をつけていることについてもお伺いしました。

「一般的にビルメンテナンス業と呼ばれているこの業種は、お客様の依頼を受けて、お客様の建物のメンテナンスをするサービス業です。本来清掃は、お客様自身でも出来るこ





屋根作業の様子



床清掃の様子

となんですよね。掃除をした  
いけれど、そもそもそういう  
時間がないとか、人手が足  
らないとか、様々な事情を抱  
えたお客様の業務を委託して  
もらって成り立っています。  
私たち専門家に委託をするこ  
とで、建物を綺麗にしてお客  
様の満足度を上げる仕事だと  
思っています。逆に言うと、  
最終的な形があまり見えにく  
い仕事でもあります。お客様  
がどこまでの『綺麗』を求め  
ていらっしゃるのかを聞き出  
し、作業を行う従業員に共有  
していくことが私の役割だと  
考えています。その上で専門  
家としての知識や技術をどう  
アピールしていくかが技量の

見せ所ですね。今日では技術  
の発達により、たくさんの業  
種でAIやロボットなどの先  
進技術が導入されていると思  
いますが、この業界はまだま  
だマンパワーでの業務が基本  
です。かがむ作業も多いため  
腰や膝の負担を減らす道具を  
使用するなどして、効率良く  
体に負担の少ない作業になっ  
てきてはいますが、まだまだ  
マンパワーあります。感じて  
います。私が社長に就任して  
2年が経ちました。それまで  
は現場で作業をすることが多  
かったのもあって、現場作業  
は好きですね。現場を知って  
いるからこそ、経営者として  
できる指導やアドバイスが増  
えてきましたし、これからも

そうしていかなければいけな  
いと感じています。またそ  
ういった知識や技術はもちろ  
ん大切ですが、それだけでな  
く、大川ビル管理の顔である  
従業員一人ひとりが、お客様  
のところに向いた際の雰囲気  
や表情やマナーなどの指導  
も並行して行っています」

時代の流れとともにお客様  
の意識やニーズも変わってき  
たとお話しされました。

「実は、私は命に係わる病気  
を何度かしては家族に心配を  
かけてきました。また、現場  
の作業をしていくなかで、お  
客様から叱咤を受けることも  
ありました。その度に挫折感  
を味わうこともありましたが、  
よくよく考えると、自分が気  
付いていない至らない部分や  
行動は、他者から指摘されな  
いとわからない部分でもあり  
ます。そういった点では、会  
社として従業員も含め、同じ  
ことを繰り返さないために一  
緒に考え、行動していくこと  
を大事にしています。『七転  
び八起き』を大切に、起きる  
ときに失敗から糧を得て、努  
力をするのが大事だと思っ  
ますし、諦めない心も大事だ  
と思います。

ましたね。以前と比べるとお  
客様が細菌のことを詳しく  
知っていたり、我々が使う道  
具が本当に綺麗なのかと尋ね  
られたりすることもありまし  
た。当たり前ですが、衛生面  
のことも気をつけています。  
ただお客様と接していく上で  
は、出来る事を当たり前にや  
り抜く『凡事徹底』の大事さ  
も感じていることの一つです。  
それからお客様の困りごと  
に対してはあきらめず、対応  
していくことも大事です。

最近では、建物の鳥害対策  
や害獣対策に関する相談も増  
えました。山林の開発や住宅  
地の造成に伴い、野生の動物  
の住処がだんだんなくなり、  
民家への被害も増えたため、  
ご相談も増えてきたんだと思  
います。鳥害対策はハトやム  
クドリなどの鳥類やコウモリ  
の洗濯物へのフン、集合住宅  
ベランダへのフンや占拠、健  
康衛生被害などが挙げられま  
す。フンの中には、様々なア  
レルギー誘発抗原等の病原菌  
が含まれています。また、害  
獣対策は、イタチ、タヌキ、  
イノシシなどの駆除や予防も  
含めてやっています。ただ、  
取り組むに当たってはその動  
物の生態や習性などを知って  
おかないと対策は出来ません  
ので、なかなか簡単に対策が  
打てないのも事実ですが、で  
きるだけお客様の相談を解決  
できる努力を続けていきたい  
と思っています」

お客様のニーズに沿った事  
業を続けられてきた古賀さん。  
では、そんな古賀さんの夢は  
なんでしょうか。

「私たちの業務はお客様の困  
りごとを解決、または良い方  
向へ導くことだと考えていま  
す。建物内外には生活や仕事  
などが必ずあって、そこに困  
りごとは必ずあります。そん  
なときに、すぐご相談しても  
らえる会社になりたいですね。  
将来的には、建物の全体を管  
理できるようにしていきたい  
と考えています。清掃の分野  
に留まらず、空調や電気関係  
、給排水設備や建物の外装など、  
建物に関して何でも任せても  
らえる会社になることが目標  
です。大川は特に木工の街で  
もあり、職人の街でもありま  
す。当社でも、建物の内外に  
関わらず、様々な分野におい  
ての職人の気概を持った人を  
育て、増やしていきたいです  
ね。また、個人的には、いま  
では現場作業を中心に家庭を  
顧みず、親や妻に孝行でき  
ていないと感じていますので、  
自分の名前に恥じないよう孝  
行ができるように日々を過ご  
していきたいです」